

第4回 JEAC4111 普及タスク 議事録

1. 日時 平成 18 年 1 月 24 日（火） 13:30～17:00

2. 場所 航空会館 201 会議室

3. 出席者（五十音順，敬称略）

出席委員：渡邊（邦）主査（東京電力），伊東（三菱原子燃料），大石（東京電力），
小宮山（グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン），齋藤（三菱電機），佐々木（日
本原燃），佐藤（東芝），芝原（日立製作所），島津（北海道電力），首藤
（電源開発），鈴木（中部電力），竹添（九州電力），辰巳（北陸電力），
古川（日本原子力発電），増田（四国電力），溝内（関西電力），宗像（原
子力安全・保安院），吉岡（中国電力），米田（原子燃料工業），渡邊（勝）
（日本原子力研究開発機構），渡辺（雅）（原子力安全基盤機構）

代理委員：大友（東北電力 南條代理），清水（三菱重工業 今村代理）

分科会：結城（原子力安全・保安院）

オブザーバ：青木（テクノファ），渡辺（淳）（中国電力）

事務局：国則（日本電気協会）

4. 配付資料

資料 No.4-1 第3回 JEAC4111 普及タスク議事録（案）

資料 No.4-2 「JEAC4111-2003 原子力発電所における安全のための品質保証規程」
平成 17 年度講習会（平成 18 年 3 月 8～9 日）の開催について

資料 No.4-3 JEAC4111 講習テキスト [全体グループ]

資料 No.4-3-1 JEAC4111 講習テキスト [全体グループ：序 1～3]

資料 No.4-4 JEAC4111 講習テキスト [グループ 1：4～6 章]

資料 No.4-5 JEAC4111 講習テキスト [グループ 2：7 章]

資料 No.4-6 JEAC4111 講習テキスト [グループ 3：8 章]

資料 No.4-7 JEAC4111 講習会総括レジメ（案）

参考資料 No.4-1 第1回総括タスク議事録（案）

5. 議事

(1) 前回議事録について

資料 No.4-1 に基づき，事前に委員に配信し一部コメントを踏まえ修正済みの前回議事
録案が紹介され，本内容で了承された。

(2) 第1回総括タスクの議事内容について

渡邊主査より参考資料 No.4-1 に基づき、平成 18 年 1 月 16 日に開催された第 1 回総括タスクの、新検討会の設置や講習会の内容等に関わる議事内容が紹介された。

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。[(Q) 質問, (A) 回答, (C) コメント]

(Q) 新検討会の開催頻度はどの程度か？

(A) 1～2 ヶ月に 1 度程度と予想される。

(C) トップダウンによるやらされ感ではなく、新検討会はもっと自由に討論する場を目指したい。またタスクは特定テーマについて、時限設置とするものではないか。

(C) 特にコース について、規格委員会は規格に基づく活動の是認等はないというのが原則である。これが講習会でも制約になるため、運営に考慮が必要である。

(3) 講習会の開催案内について

資料 No.4-2 に基づき事務局より、以下の説明とともに講習会の開催案内の案が紹介された。

- ・ 受講者の対象を、開催案内の送り状本文に記載した。
- ・ 1 月中を目途に品質保証分科会委員に配信し 2 月 17 日〆切で申し込みを募るので、適宜組織内で事前に紹介をいただきたい。
- ・ 受講料は当面の標準と考え、次年度以降の多少の人数変動等も考慮し、JEAC4111, JEAG4121 を含めず 35,000 円とした。
- ・ より有効なアンケートとするよう、事前に質問があれば受け付ける等の方法も含め、アンケート内容を検討いただきたい。

議論の結果、開催案内に以下の修正を行うことを確認した。なお、講習会会場にタスクメンバ用の席を考慮することとした。

- ・ 開催案内本体部にも、日程、場所、定員に加えて、受講者の対象をより明確に追記する。
- ・ 講習内容の参考にするため、規格解釈や関連する運用等に係る質問があれば申し込み併せて連絡いただくよう追記する。
- ・ 講習会プログラムに、各講演時間には 5～10 分程度の質疑応答を含むことを追記する。

講習は、以下の講師および時間配分で行うことが承認された。なお、当初計画から 5, 7 章を 10 分減、総括を 20 分増とし、ケーススタディ等を含めるよう、今後その内容を検討することとした。

初日：13:00～17:30

- ・ 特別講演 飯塚分科会長（東京大学）(60 分)
- ・ 特別講演 宗像委員（原子力安全・保安院）(60 分)

- ・ 全体 渡邊（邦）主査（東京電力）(70 分)
- ・ 4.品質マネジメントシステム 島津委員（北海道電力）(55 分)

二日目：9:00～17:00

- ・ 5.経営者の責任 渡辺（淳）氏（中国電力）(50 分)
- ・ 6.資源の運用管理 古川委員（日本原子力発電）(30 分)
- ・ 7.業務の計画及び実施 鈴木委員（中部電力），竹添委員（九州電力）(140 分，講師二人の担当区分は追而決定)
- ・ 8.評価及び改善 大石委員（東京電力），首藤委員（電源開発）(120 分，講師二人の担当区分は追而決定)
- ・ 総括 溝内委員（関西電力）(65 分)

(4) 参考講話について

結城分科会委員より，講習内容の参考に資するため，QMS 導入後のワンランクアップを狙う目的の講話「効果的な品質保証の実現を目指して」を講演いただいた。本内容については，必要に応じて各章の講習内容への反映を検討することとした。

(5) 講習内容について

講習内容について議論の結果，以下のとおり講習時の方針・留意点やテキスト内容の修正点を確認した。また今後，講習時の説明のポイントを各グループで作成し，今週中にタスク内にメールで配信のうえ来週中にコメントを募ること，コメントを踏まえ必要な修正を施し，グループリーダー，発表者を中心に2月15，16日にリハーサルを行い，テキストを完成させることを確認した。

- ・ 現在のグループ1の，4章スライド No.19 までの説明は全体グループで行う。
- ・ 全体グループの説明から，宗像委員よりいただく特別講演に含まれる，法令・規制要求に関する内容は削除する。
- ・ 全体グループの序論は，JEAC4111 に係るこの2年間の動向など，ポイントを絞った説明にするよう検討する。
- ・ 総括の内容に，ケーススタディ等を含めるよう検討する。
- ・ 全般に，要求事項の意図にまで踏み込んだ説明を行い，適宜具体的な事例を含めるよう検討する。
- ・ テキストの分量が多いため，当日の説明で使用しないスライドを飛ばす方法を，事前に検討しておく必要がある。テキストは白黒のコピーとなるが，説明にのみ使用するコピーを追加作成することも可能である。

以 上